

小学校6年生 9月授業参観 社会科授業(案)

1) 準備するもの

- ・ペリー写真(教科書・資料集・インターネットなどから取り込み可能)
- ・狂歌「太平の 眠りをさます 上喜撰 たった四杯で 夜も眠れず」の狂歌(大きめの用紙に)
- ・黒船と当時の船の比較できる資料(資料集・インターネットなどから取り込み可能)

→2つとも、ICTを活用して、大きなテレビで提示するとわかりやすい。

2) 板書

太平の 眠りをさます 上喜撰	(この狂歌にあるように) どうして日本人々は、黒船で夜も眠れなくなったのだろうか?	たった四杯で 夜も眠れず
人々は ・煙を吐く大型船に ・あわてる幕府に ・得体の知れない外国人に 不安	 日本中が黒船に右往左往! 	幕府は ・開国を求められて ・軍事・技術力の違いに ・次々寄せられる開国要求に 大あわて
函館でも… ・奉行所も困っているよ ・家から出られなかったよ	日本中が、ペリー・黒船に圧倒されている! 開国を求め外国との力の差を知って、幕府は開国せざるをえなかったんだね。	

3) 授業の流れ

- ① 「江戸時代が鎖国をしていたこと」「ペリーが開国を求めて来航した史実」を確認。
- ② 「狂歌」提示。(→問題意識をもたせる)
- ③ 黒船と和船の比較から圧倒的な力の差に着目させながら、自分の考えをノートに書かせる。
- ④ ノートに自分の考えを書かせる。机間指導では、「誰がそう思ったの?」など立場をはっきり意識して考えを書かせるとうい。
- ⑤ 発言は、2つの立場に価値つけてまとめていく。開国に際して結んだ条約や幕府の開国への動きも板書していくとうい。最終的には、庶民と幕府のどちらも、不安を抱いていたことをまとめていく。→途中、函館奉行所と庶民の苦慮について、教師から資料提示も行う。
- ⑥ 授業の終わりには、ペリーの来航により鎖国政策がほころび、近代化への道を歩み始めたことを確認し、次への学習の意欲を持てるようにする。

4) 授業をするにあたり

- …子どもたちの考えが、ほぼ出てきた頃に「北海道にも黒船が来たよ」という投げかけをした上で
- ・箱館に来航したエピソードを紹介し、対応に苦慮する箱館奉行所と、艦隊が在港中店を閉じた商店や戸締りをして婦女子を隠した庶民という、客観的に確認できる不安や怖れを活用する。
- ・函館中央図書館のホームページより、様々なペリー率いる艦隊の箱館寄港に関する情報、画像が入手できる。上記ホームページにある、明治初期の箱館港の写真には和船、洋式帆船、洋式汽船の停泊する様子が確認できる。